



「法律が公布されても施行前に廃止することはできる。前例もある」

(2013年12月14日付信濃毎日新聞)

# みんなの力で秘密保護法の廃止を！署名にご協力ください。

## 秘密保護法への反対や不安の声が、世代を超えて私たちに寄せられています。

・ただでさえ原発の情報は隠されています。福島第一原発一号機は、東日本大震災から16時間までにメルトダウンを起こしていました。この事実を東電が明らかにしたのは2か月も経過してからでした。原子力災害時に放射性物質の拡散状況を予測する「SPEEDI」のデータを、政府は、福島県民はじめ、国民にはすぐには公表しませんでした。それを知らされずに線量の高い地域に避難し、避けられたはずの被爆をした被災者もいます。原発事故の被災者になり、情報を隠され、原発反対と訴えたら悪者扱いにされるような秘密保護法には強く反対します。(福島県檜葉町から避難している学生)

・特定秘密保護法は秘密の範囲はあいまいで、いったん「特定秘密」に絡んだと見られたら、いつでも国に監視されるかわからない。戦前を知る私は、この法律は大変だと直感的に思った。人間が国や組織の奴隷になってはならない。(70代女性)

・こんな大事な法案をわずかな時間の審議で決定してしまった。数にまかせての強行採決はいくらなんでもあんまりです。(40代男性)

・原発事故の汚染で人間だけでなく、あらゆる生き物が苦しんでいる。秘密とか言っている場合じゃない。声なきものたちに代わり私は特定秘密保護法に反対します。(20代女性)



・私は今年第一子を授かり母になりました。子どもの命と未来を育むためには情報が必要なんです。私たちが今最も不安に思っている原子力発電所の安全性や放射線被ばくの実態、健康への影響などの情報。その知りたい情報が隠されること、そして知ろうとすることが罪になる。それはおかしいんじゃないかな？と思うのです。(20代女性)

・安倍総理大臣は、秘密保護法では、普通の人は逮捕しない、と説明しているが、普通の人は、政府のやり方に疑問を感じないで従っている人のこと。あの戦争に反対したり、国策に逆らった人たちは、非国民、国賊と言われて弾圧された普通ではない人たち。戦争に協力し、国策に従った普通の人

たちも、家族が戦死したり、多くの犠牲をこうむった。国民の知る権利を奪い、戦争への道に進む秘密保護法は廃止しかない。(70代男性)

・情報は国民のもの。国民が様々な情報から考えて判断できる力をつけていくことが、民主的な国家として発展していく道だと思えます。長野市が市民にたいして開かれた市政であることを示すためにも、秘密保護法廃止を求める意見書を長野市議会からあげていただきたいと思えます。(40代女性)

- ・好きな長野を守りたいから違憲な秘密保護法に意見をする！
- ・言いたいことも言えなくなる、知りたいことも調べたら罰せられるかもしれない、そんな法律はいりません！！
- ・自由のない国反対
- ・安心のできる社会を
- ・石破茂氏が平和的な抗議やデモを「テロ」と言ったのは「秘密保護法さえあればお前らなど合法的に一網打尽だ」と言っているように聞こえた。
- ・敗戦時代を知る者には絶対反対
- ・戦争はいやだ！！
- ・決まってしまったから「しかたない」とあきらめてしまえるような問題ではないと思います。
- ・国民の幸せを考えてください！
- ・みんなの力でこの悪法を撤廃に持ち込みましょう。
- ・国民の権利を大切にしてください。
- ・意見であり罰刑法定主義違反。
- ・身の毛がよだつ法律です。
- ・「秘密から戦争が…」
- ・治安維持法の過ちを忘れるな
- ・とんでもないこと！！
- ・秘密保護法反対です！
- ・やたらと警察庁長官が条文に出ており、戦前の特高警察を思わせる法律。
- ・福島で開かれた公聴会で全員が反対したのに、国民の声を聞かず法案を数にまかせて強行採決した安倍政権は許せないと思った。
- ・長野市も県内の他の自治体のように秘密保護法廃止の意見書を採択してほしい。
- ・戦前に戻るような気がする。
- ・原発問題、秘密保護法など、自分の国・政府を疑ってかからなければいけないと思う。
- ・正しいことを言える国に
- ・ゼヒゼヒ撤廃
- ・戦前に戻らないためにも情報公開をすすめて

### やだネット通信号外

2014年2月

秘密保護法やだネット長野

長野市緑町 1455-1

ダイアパレス 1301

(やだネット事務局・板本)

026-232-1650 (事務局・田澤洋子)

メール: himitsuyadane@yahoo.co.jp

http://himitsuteppai.jimdo.com/

